

株式会社スペースツリーと樹林AI、ワークプレイスとAI エージェント記述を融合したAI電話代行「AIコンシェル」を共同発表



2026年6月ローンチの次世代サービスに樹林AIを採用



Asuka Takayama
press@jurin.ai

Tuesday
June 2, 2026

ワークスペースプラットフォームの構築・運営を行う株式会社スペースツリー（本社：東京都港区／代表取締役CEO：野木一輝、以下「スペースツリー」）と、AIエージェントを開発・提供する樹林AI株式会社（本社：東京都千代田区／代表取締役CEO：Rise Ooi、以下「樹林AI」）は、スペースツリーが2026年6月に提供開始する新サービス「AIコンシェル」において、樹林AIのエージェント技術を採用し、両社で共同展開を進めていくことを発表いたします。

本提携は、スペースツリーが掲げる「未来の働き方をはぐくむ」という理念のもと、企業の受電業務に関するサービス開発において、樹林AIが提供する“現場で使えるAIによる業務効率化”の思想が一致したことにより実現したものです。

働き方そのものを支える“空間”と、その空間での日々の受電業務体験を支える“AIの仕組み”を融合させることで、企業・個人双方にとって新しい価値を提供してまいります。

【背景】ワークスタイルの多様化と、業務コミュニケーションの複雑化

スペースツリーは、全国のコワーキングスペース・レンタルオフィス・バーチャルオフィスをつなぐ相互連携プラットフォームを構築し、企業の柔軟な働き方を支援してきました。一方で、ビジネス環境が急速に変化する中、企業では次のような課題が顕在化しています。

1. 電話・メール・LINE・Slack・Chatwork・Googlechat・Teamsなど複数チャネルへの同時対応
2. 問い合わせの即時性と品質を両立させる難しさ
3. ナレッジが散在し、回答品質にばらつきが生じる
4. 在宅／オフィス／拠点が分散する中で業務体験を統一する必要性
5. 現状の電話代行サービスは大半が有人対応で行っているため、サービス時間の制限及びコストが高い

こうした企業の実務課題に対し、「場所 × 働き方 × 業務効率」を統合的に支援する新たなサービスの必要性が高まってきたと感じ、今回の提携は、これらの課題に対し “電話(受電)対応業務” と “樹林AIの業務自動化技術” を掛け合わせることで、企業の働く環境を包括的に支援するものです。

【樹林AI採用の理由】

スペースツリーの“未来の働き方”と親和性が高い AI エージェント技術

スペースツリーが樹林AIを採択した理由は以下の通りです：

1. 問い合わせの一次対応～処理を自動化するマルチエージェント技術
2. 電話・メール・チャットなど複数チャンネルを統合的に扱える点
3. マニュアル・PDF・資料など多様なナレッジを理解し、即時回答を生成
4. 属人化を解消し、品質を安定化するAI運用が可能なこと

スペースツリーの新サービスが目指すのは「ただ働く場所を提供するのではなく、ビジネス・効率・コミュニケーションまでも支えること」。

樹林AIは、このビジョンを実現する基盤技術として最適であると判断されました。

【導入による効果】

AIコンシェル(樹林AI)を組み込むことで、スペースツリーのワークプレイス/施設運営には以下の価値が付加されます。

1. 電話・受付業務の工数を 90%削減(実績ベース)
2. 月10～20時間発生していた対応業務を1～2時間以下に圧縮
3. 人件費・取りこぼし削減により最大20倍のROIを実現
4. 営業時間外・多言語・一次対応を24時間自動化
5. 問い合わせ対応の品質を均一化し、属人化を解消

AIコンシェルが「受付・電話・案内」の役割を担うことで、人は本来やるべき業務(接客・営業・運営改善)に集中できる環境が生まれます。「ワークプレイス × AIコンシェル」の融合により、バーチャルオフィスユーザーや電話業務を有人で行っている企業・施設に対し、「働く場所 × 業務効率 × コミュニケーション品質」が一体化した、新たな運営価値を提供します。

【今後の共同展開】

“働く場所の未来”を共にアップデートするパートナーシップ

両社は今回の発表を皮切りに、以下を共同で推進してまいります：

1. 2026年6月の新サービスローンチに向けた共同開発・検証
2. 企業ごとの業務内容・運用に最適化した「カスタマイズAIコンシェル」の共同提供
3. 業種別ユースケースの共同整備
4. 導入企業の成功事例・活用モデルの共同発信
5. コミュニケーション自動化領域における機能拡張と連携強化

スペースツリー 代表取締役 コメント

スペースツリーはシステム開発を通じ、働く場所の多様性と柔軟性を拡張してきました。今後は”場所”の提供にとどまらず、働く人が抱える実務的な『時間と労力』の課題を解決したいと考えています。樹林AI様との協業は、その実現に向けた重要な一歩です。空間とAI技術を融合させ、ビジネスユーザーの“働き方の質”を飛躍させる次世代インフラを、両社で構築してまいります。

野木一輝

株式会社スペースツリー 代表取締役

樹林AI 代表取締役 CEO コメント

樹林AIはこれまで、企業現場の“対応負荷”や“情報分散”といった実務課題に対し、AIエージェントによる業務自動化を進めてきました。本提携は受電効率化にとどまらず、“働く空間”とAIの仕組みを結びつける点に大きな意義があります。スペースツリー様のワークプレイス基盤と当社のマルチAIエージェント技術の融合により、業務の質・スピード・体験を同時に高める新しい運営基盤が生まれます。人が本来集中すべき価値創出の時間を取り戻す社会の実現に向け、両社で進化を続けてまいります。

Rise Ooi

樹林AI株式会社 代表取締役 CEO

【会社概要】

株式会社スペースツリー

ワークスペース相互連携プラットフォームの開発・運営、コワーキング・レンタルオフィス事業

ウェブサイト

広報問い合わせ先: sales@spacetree.jp



— 以上 —

樹林AIについて

樹林AI株式会社は、企業の業務プロセスを自律実行するAIエージェント基盤を開発・提供する日本発のテクノロジー企業です。メール、電話、各種メッセージング、基幹システムを横断的に統合し、問い合わせ対応から業務フローの自動化までを一気通貫で実装します。経営陣はGoogle、Apple、Microsoft、OpenAI、NVIDIA、Amazon、Meta、Palantirなど世界的テクノロジー企業出身者で構成され、日本発のAIエージェント基盤を世界市場へ展開しています。

本件に関するお問い合わせ

報道関係お問い合わせ先

樹林AI株式会社 最高外交責任者 高山 明日香

電話: 080-4607-0677

メールアドレス: press@jurin.ai

[ウェブサイト](#) | [フェイスブック](#)

